

舟形町大型カルバート長寿命化修繕計画
(個別施設計画)

令和3年1月

舟形町

1 現状と課題

舟形町が管理する供用中の大型カルバートは1箇所であり、平成28年3月31日現在における竣工後50年を超える大型カルバートはありません。

現在、構造物に変状等はありませんが、定期点検による現状把握の結果、確実な対策（早期補修）が必要となります。



若あゆ温泉トンネル（2000年竣工）

2 メンテナンスサイクルの基本的な考え方

今後、道路構造物は急速に老朽化していくと考えられている。その対策として、メンテナンスサイクルを確立するために具体的な点検頻度や方法等が法令で定められ、「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言（平成26年4月）」では、メンテナンスサイクルを持続的に回すよう取り組むべきと提言されています。

このことから、大型カルバートに関しても長寿命化を図るため、「シェッド、大型カルバート等定期点検要領（国土交通省道路局 平成26年6月）」に基づき、5年に1回の頻度で近接目視点検を実施し、健全性の判定を4段階で区分し構造物の状態を把握していく。

I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く緊急に措置を講ずるべき状態。

点検・診断結果に基づき必要な措置を適切な時期に着実かつ効率的・効果的に講じ、点検結果とともに記録してメンテナンスサイクルを回すことで老朽化対策を推進していくことが必要である。

3 計画期間

計画期間は平成 28 年(2016 年)から平成 32 年(2020 年)までの 5 年間とする。次回点検後、点検結果から変状の進行性を推考し、計画の見直しを行う。



大型ボックスカルバート 初回点検状況

4 対策の優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な措置を講ずる。対策の優先順位は、大型カルバートの健全性のほか、第三者への影響度や路線の重要度などを総合的に勘案して判断する。

5 施設の状態・対策内容・実施時期・対策費用

平成 28 年度に点検を実施し、判定Ⅱとなっている。初回点検のため、変状の進行性は不明である。

次回点検までに、Ⅱ判定の箇所については、定期的に監視を行い、変状の進行が確認された場合に対策を行う。

◆舟形町大型カルバート点検計画・修繕計画は以下のとおり

施設名	町道 路線番号	竣工 年次	管理 延長 (m)	健全性 区分	対策内容	対策 費用 (万円)	次回 点検 年次
若あゆ温泉トンネル	258 町道一の 関若あゆ 大平線	2000	100	Ⅱ	はつり落とし工 断面修復工 当て板工	400	2021